

## コラム 東京都大島町を襲った土石流災害における技術指導について

東京都大島町（伊豆大島）では、平成 25 年 10 月 16 日未明に台風 26 号がもたらした豪雨（24 時間で 824mm）によって土石流が発生し（写真-1）、死者 36 名、行方不明者 3 名（消防庁応急対策室平成 26 年 1 月 15 日発表）の災害が発生しました。災害発生後は、土石流によって行方が分からなくなった住民の捜索活動や被災地の復旧対応等が実施された一方で、その後も台風 27 号の接近に伴う降雨により、二次災害の恐れが懸念されました。

土木研究所は国からの要請を受け、直ちに独立行政法人土木研究所緊急災害対策派遣隊（以下、「土研 TEC-FORCE」という）として、10 月 19 日～21 日、10 月 24 日～30 日にわたって 3 名（延べ 11 人・日）の土砂災害の専門家を派遣し、専門的見地から技術指導を行いました。

土研 TEC-FORCE が助言した再崩壊等の可能性の調査結果に基づいて、東京消防庁・自衛隊による降雨後の捜索活動再開時期が設定され、捜索活動の安全確保に貢献しました（写真-2）。また、東京都大島町が出した避難勧告の対象範囲は土研 TEC-FORCE が助言した二次災害の危険性の高いエリアに基づいて決定されたことで、住民の安全確保にも寄与することができました。



写真-1 東京都大島町の土砂災害



写真-2 消防庁が行う救出活動において現場の安全性を確認する土木研究所職員